



大学の貢献

教育学部附属特別支援学校

学校教育法に基づいて、発達障害を伴う知的障害がある児童生徒が、社会の中で生き生きと暮らしていく姿をめざし、児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす教育を行います。

〈附属特別支援学校としての役割〉

特別支援教育の伸展に寄与するため、教育研究や地域支援について、大学と連携した先導的・実践的な研究を進めます。また、山口大学教育学部の附属学校として、将来、特別支援教育に携わる教員を養成するための教育実習に取り組むとともに、教職大学院または地域と連携した教員の研修支援など、公教育の根幹を支える任務があります。

〈特別支援教育のセンター的機能の充実〉

webを活用した公開授業研究や公開研修など教員研修の実施により特別支援教育のセンター的機能の強化を図ります。また、『ヤマミィる一む』での幼児及び保護者支援を行う幼児教育相談、人や地域をつなぐ地域支援の取組の充実を図ります。

・進路指導

児童生徒の思いや願いを聞きとりながら、進路情報の収集や提供を行うとともに、体験活動をとおして、児童生徒（保護者）が将来の進路を選択・決定し、卒業後の豊かで充実した生活につながるよう、支援を行っています。

・地域と連携した取組

近隣の小・中学校、高等学校の児童生徒とのパラスポーツなどとおした交流及び共同学習、卒業生や地域の方と豊かな余暇を過ごす取組としての「スポレク★くらぶ」、地域の方へおもてなしをする「まごころカフェ」など、地域で「ともに生きる」ことをめざした取組を行っています。

・発達支援

『ヤマミィる一む』（幼児発達支援、療育相談）特別な支援を必要とする幼児に対して、小集団活動等とおして発達支援を行うとともに、保護者に対するグループカウンセリング、療育相談等を行なっています。



山口大学教育学部附属特別支援学校

おもしろプロジェクト

みんなでハッピーホースライフ！～馬活動室ボランティアグループ～

心に癒しを求めている人々にやすらぎを与えるホースセラピーに注目し、構成員のみならず地域の人々に対しても心身の健康をもたらす社会貢献活動を主たる目的として、2021年4月にサークル（名称：ホースヒーリングサークル）を結成しました。このプロジェクトは同サークルで考案したプロジェクトであり、馬活動室ボランティアグループも同サークルメンバーで構成されています。

馬の手入れ、観察、飼養管理、厩舎管理などとおして障がい者の精神機能と運動機能を向上させ、社会復帰を早めるリハビリテーションに寄与します。障がいのある子供達の明るい未来につながる活動として「ホースアシステッドセラピー教室」を開き、大きく次の3つの目標を掲げ活動を行っています。

- 1) 馬と関わることでリラックスし、自分の気持ちが落ちついていく様子を体験し情緒の安定を目指す。
- 2) 馬の世話により馬の気持ちを察し、行動の仕方を知ること人間関係の形成に貢献する。
- 3) 引き馬や厩舎作業等で周りの人と主体性のあるコミュニケーションを取る。

また、障がいのある子供たち以外にも馬と触れ合う機会を作っていき、活動の幅を広げていきます。具体的には、子供や馬が楽しめるようDIYに工夫を凝らすこと、馬の堆肥を活用し馬－土－野菜－人の循環を体感すること等をこの会に取り込み、多面的に馬と社会がつながる仕組みを考案・実現していきます。



参加した小学生からの手紙



厩舎のそばで野菜を収穫